

富山高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	総合国語 I A2		
科目基礎情報							
科目番号	0020		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年	1			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	「国語総合 古典編」(大修館書店)						
担当教員	近藤 周吾						
到達目標							
義務教育レベルの国語力の復習と定着を目指すとともに、論理的文章および文学的文章を根拠に基づき論理的に理解する能力を育てる。漢字や語句についても、まずは義務教育レベルの復習と定着を目指す。小論文を書く力の土台を築く。日本人が古来愛読してきた古典を読み理解することで、日本人としての基礎的教養と多用なものの見方を身につける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	古文や漢文をすらすら音読できると同時に、内容についても理解できる。		古文や漢文を音読できると同時に、内容についてもある程度、理解できる。		古文や漢文を音読することができず、内容についても理解できない。		
評価項目2	原稿用紙の使い方や小論文の基本的な書き方を理解し、説得力のある小論文を書くことができる。		原稿用紙の使い方や小論文の書き方がある程度、理解し、形式の整った小論文を書くことができる。		原稿用紙の使い方や小論文の書き方を理解せず、形式の整った小論文を書くことができない。		
評価項目3	漢字や語句、文学史などの基礎的な知識を身につけている。		漢字や語句、文学史などの基礎的な知識をある程度、身につけている。		漢字や語句、文学史などの基礎的な知識を身につけていない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	古典および国語表現の基礎について学習する。						
授業の進め方・方法	講義形式で行うが、音読等による授業参加を加えて理解を深める。						
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 関連科目 内容の関連: 総合国語IA・総合国語IB(後期) コミュニケーション能力: 外国語・保健体育 人間の探求と複眼的思考: 歴史・政治経済 ◆ 受講する皆さんへのメッセージ: ・ 学生の積極的な参加、発言、介入を期待している。 ・ 双方向のやりとりを増やし、理解の定着を目指す。 ・ 理解度を確認し進めるため、シラバスの若干の変更はあり得る。 ・ 的確な板書を心がけ、ノートをとる時間を確保する。 ・ 評価が60%に満たない学生には、追認試験を行うことがある。 						
授業の属性・履修上の区分							
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	オリエンテーション	国語科の学習目標を共有する。友人たちとコミュニケーションを図る。			
		2週	古文入門	なぜ古文を学習するのかを共有する。			
		3週	児のそら寝	すらすら音読できるように練習する。			
		4週	児のそら寝 絵仏師良秀	すらすら音読できるように練習する。 古今異義語に注意しながら、内容を理解する。			
		5週	絵仏師良秀	主人公の意外な行動とその理由を理解する。			
		6週	漢文入門	訓読の基本を学習する。			
		7週	漁父之利	すらすら音読できるように練習する。			
		8週	漁父之利 蛇足	すらすら音読できるように練習する。 内容を理解する。			
	2ndQ	9週	蛇足 五十歩百歩	すらすら音読できるように練習する。 内容を理解する。			
		10週	五十歩百歩 朝三暮四	内容を理解する。 再読の表現について整理する。			
		11週	国語表現入門	さまざまな挨拶について学習する。 メールの書き方を学ぶ。			
		12週	原稿用紙の使い方	原稿用紙の使い方について学ぶ。			
		13週	小論文の表現	文章と会話の表現の違いを知る。			
		14週	小論文の構成	3段落構成で論理的な構成ができるように学習する。			
		15週	小論文の実践	実際に小論文を書いてみる。			
		16週	中間試験・期末試験	学習の定着を図る。			
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	10	0	10	0	10	100
基礎的能力	70	10	0	10	0	10	100

専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0